

## 平成26年度 彦根統合新校設置懇話会 第3回会議 概要

### 1 日 時

平成26年10月15日（水） 13:30～15:40

### 2 場 所

彦根翔陽高等学校 セミナーハウス

### 3 次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 意見を伺う事項
  - (1) 統合新校の校章デザイン募集要項（案）について
  - (2) 統合新校の校歌（歌詞）募集要項（案）について
  - (3) 統合新校の教育内容等について
  - (4) 統合新校の統合移行期について
- 4 その他
- 5 閉会

### 4 出席者

#### (1) 委 員

- |        |                     |
|--------|---------------------|
| 岡崎 正彦  | 委員（彦根市PTA連絡協議会 顧問）  |
| 杉本 定幸  | 委員（彦根翔陽高等学校同窓会 会長）  |
| 福渡 努   | 委員（滋賀県立大学人間文化学部 教授） |
| 藤田 隆行  | 委員（彦根西高等学校同窓会 会長）   |
| 磯谷 直一  | 委員（彦根市企画振興部 部長）     |
| 宮野 由紀絵 | 委員（彦根西高等学校 学校評議員）   |
| 八谷 啓子  | 委員（彦根翔陽高等学校 学校評議員）  |

#### (2) 統合新校開設準備室

- |        |                       |
|--------|-----------------------|
| 茶谷 不二雄 | 統合新校開設準備室長（彦根翔陽高等学校長） |
| 猪田 章嗣  | 統合新校開設準備室参事（彦根西高等学校長） |
| 浅見 義典  | 県教育委員会事務局管理監（学校支援課長）  |
| 森田 恭司  | 県教育委員会事務局学校支援課参事      |

### 5 主な意見

#### (1) 統合新校の校章デザイン募集要項（案）について

- 応募資格については、県内を問わず広く募集する。
- できるだけ多くの応募が集まるように、応募期間は長くしたい。ただし制服に反映したいので、応募期間については彦根統合新校開設準備室の方で慎重に検討する。

- 当初計画していた彦根市広報に募集要項を掲載するというについては、公募開始の日や期間等を考えると難しいと考えているが、周知方法についても検討したい。

## **(2) 統合新校の校歌（歌詞）募集要項（案）について**

- 模倣作品による応募の心配があるので、応募資格については限定する。
- 校章の公募数より少なくなることが予想されるので、歌詞の字数の目安を募集要項に掲載しておく、応募数が増えるのではないかと。
- 応募数が少ない場合、あるいは校歌にふさわしい案がない場合などを想定して、予め代替案を用意しておくことが必要ではないか。
- 校章よりも長めに応募期間を設定することも考えたい。
- ある程度実力を持った方に作ってもらうことや、公募作品が少なかった場合の対応策を検討しておいてほしい。

## **(3) 統合新校の教育内容等について**

- 再編計画では普通・商業・家庭の3系列で編成するということがあったが、今回の案では6系列になっている。普通系列名の「人文探究系列」、「自然探究系列」について、内容がわかりにくく感じる。それぞれ「普通系列文系」、「普通系列理系」と変更してはどうか。
- 選択肢が多いのが総合学科の魅力ではあるが、逆に多すぎてわかりにくくなっている。設置系列は、もう少しシンプルで、中学生に分かりやすい名称が良いのではないかと。
- 高校を選択する際、自分自身の進路をしっかりと考える良いチャンスだと思うので、高い目的意識をもった生徒に入学してもらいたいのであれば、どういうことを学ぶのか、学習内容が分かりやすい「人文探究系列」「自然探究系列」などの系列名称の方が良いと思う。
- 3年間の履修単位が94単位としていることについては、少し多いように感じる。
- 中学2年生の3学期の早い段階で、進路学習を実施する中学校もある。新校の教育内容を紹介するリーフレットの配付は、できるだけ早くしてほしい。
- 懇話会の資料については、できるだけ、事前に送付できるようにしていきたい。

## **(4) 統合新校の統合移行期について**

- 彦根西高等学校と彦根翔陽高等学校の生徒に移行期のあり方についてのアンケートを行うことは、教育的な見地から差し控えることにした。
- 今日提示された資料は、彦根西高等学校関係者が提出した要望に対するもので、彦根翔陽高等学校の立場に立っていない。また、資料は、彦根西高等学校生徒が最後まで彦根西高等学校の校地で終了する場合のメリットが記載されていない。
- 現在の中学3年生やその保護者に対して、3校と一緒に学習活動を行う場合のデメリットを伝えるべきではないか。
- なぜ彦根翔陽高等学校の学期制を3学期制に変更することを検討しているのか。
- 移行期のあり方について結論を先延ばしにすることは、両校の生徒や教育現場にとって良いことではない。意見を伺い、11月には、結論を出せるように検討する。